

5 “ハラスメント”に関するサポート

一人で悩まないで相談してください。私たちはあなたの味方です。

「ハラスメント」は英語で「嫌がらせ」を意味します。相手の気持ちに反する言動によって相手に不利益を与え、勉学、研究、仕事の環境を害することを言います。ハラスメント委員会では、学生、教員、職員の皆さんが安心して勉学、研究、仕事に取り組めるように、ハラスメントのない環境を目指して、相談窓口を設けています。

大学でもハラスメントは起こります。例えば、相手が嫌っているにもかかわらず、しつこく食事やデートに誘ったり、性的な質問をしたりすればセクシュアル・ハラスメント（セクハラ）になります。教育者が正当な理由もないのに、学生に対して授業への出席を制限したり、レポートを受理しなかったりすればアカデミック・ハラスメント（アカハラ）になります。部活の先輩が酒に弱い後輩に対して飲酒を強要したりすればパワー・ハラスメント（パワハラ）になります。

ハラスメントの被害を受けたと感じたら、勇気を出してやめてほしいと相手に伝えてみましょう。それでも相手が聞き入れなかったり、自分からはなかなか言い出せない場合には、一人で悩まず相談窓口に申し出てください。メールでの相談も受け付けています。

あなたの秘密は固く守ります。

また、あなたの希望を最優先に考えます。安心して相談してください。

ハラスメント相談窓口

総務部総務課、学務部学生課、健康管理室

相談窓口メールアドレス：stop-ha@fc.hakuoh.ac.jp

相談窓口メールアドレスは、ハラスメント防止委員会委員長に繋がります。基本的に、ハラスメントの相談はハラスメント防止委員会に所属する教職員が担当します。委員長、委員会教職員の氏名は、白鷗大学HP「ハラスメント防止」の項で確認することができます。

6 幼稚園教育実習、保育実習（保育所・施設）に関するサポート

保育者を目指す学生の夢の実現に向けて、保育現場の実習が待っています。

実習は3年次からスタートになりますが、1年次から保育者になるという意識を高めながら、準備を進めることで学びの多い楽しい実習を目指しましょう。

実習に向けた教材の作成、手遊びや絵本の読み聞かせの仕方、保育現場でのボランティアについて、進路や就職先についての相談等に応じています。

現場経験豊富な幼稚園教諭、保育士が常駐し、学生の不安を受け止め解消できるように、必要な時に必要なサポートをしていきます。

相談の受付時間等については、幼保実習サポート室入口の掲示板をご覧ください。

幼保実習サポート室

Tel 0285-21-0629

メール：yohosupport@ml.hakuoh.ac.jp